

## 2020年度（2021年3月期） 第3四半期連結決算概要

### 1. 2020年度 第3四半期 決算実績 <対前期>

#### (1) 決算実績のポイント

減収増益：減収は4期ぶり、増益は3期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	Δ1,011百万m <sup>3</sup>	：新型コロナ影響などによる業務用需要家の需要減及び発電専用需要家の需要減等
電力販売量	+3,527百万kWh	：小売件数増及び卸電力市場向け販売増などによる販売量増
売上高	Δ1,285億円	：都市ガス販売量減などによる「ガス」の売上減等
営業費用	Δ1,396億円	：都市ガス販売量減などによる「ガス」の原材料費減等
営業外損益	Δ54億円	：持分法による投資損益 Δ44億円 等
特別損益	+42億円	：(当期) 投資有価証券売却益 +47億円 負ののれん発生益 +29億円 減損損失 Δ75億円 投資有価証券評価損 Δ40億円 ：(前期) 減損損失 Δ80億円

<2020年12月末現在連結会社数：連結子会社 105社、持分法適用関連会社15社> (単位:億円)

決算実績表	2020年度3Q	2019年度3Q	増減	%
売上高 (歴代7位)	12,335	13,620	Δ 1,285	Δ 9.4
営業費用	11,677	13,073	Δ 1,396	Δ 10.7
営業利益 (歴代9位)	657	547	110	20.0
経常利益 (歴代8位)	623	569	54	9.6
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代6位)	453	336	117	34.9

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライドタイムラグ(※)	140	50	90
年金数理差異償却額影響	6	Δ 57	63

(※)原料費調整制度において原油価格の上昇(下落)に伴う原材料費の増加(減少)が売上高の増加(減少)に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2020年度3Q	2019年度3Q	増減
為替レート(¥/\$)	106.10	108.65	Δ 2.55
原油価格(\$/bbl)	39.04	67.84	Δ 28.80
平均気温(°C)(※)	19.4	19.5	Δ 0.1

(※)お客さまそれぞれのご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したもの。

#### (2) 都市ガス・電力販売量

		2020年度3Q	2019年度3Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	1,962	1,936	26	1.3
	業務用	百万m <sup>3</sup>	1,572	1,793	Δ 221	Δ 12.3
	工業用	百万m <sup>3</sup>	4,105	4,831	Δ 726	Δ 15.0
	計	百万m <sup>3</sup>	5,677	6,624	Δ 947	Δ 14.3
	他事業者向け供給	百万m <sup>3</sup>	1,273	1,362	Δ 89	Δ 6.5
合計	百万m <sup>3</sup>	8,912	9,923	Δ 1,011	Δ 10.2	

家庭用：新型コロナ感染拡大防止のための外出自粛等による需要増  
業務用：新型コロナ影響等による需要減  
工業用：発電専用需要家の需要減等  
他事業者向け供給：新型コロナ影響等による供給先需要減

小売お客さま件数(千件)：8,935 (対前期Δ324) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,041 (対前期+136) ※取付メーター数は、休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

		2020年度3Q	2019年度3Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	7,152	5,766	1,386	24.0
	卸他	百万kWh	10,533	8,392	2,141	25.5
	合計	百万kWh	17,685	14,158	3,527	24.9

小売：件数増及び新型コロナ感染拡大防止のための外出自粛等による需要増

卸他：卸電力市場向け販売増等

小売お客さま件数(千件)：2,629 (対前期+404) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

#### (3) セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2020年度3Q	2019年度3Q	増減	%	2020年度3Q	2019年度3Q	増減	%
ガス	7,958	9,553	Δ 1,595	Δ 16.7	644	561	83	14.8
電力	2,823	2,497	326	13.0	148	51	97	185.7
海外	311	339	Δ 28	Δ 8.3	17	111	Δ 94	Δ 84.4
エネルギー関連	2,361	2,449	Δ 88	Δ 3.6	117	117	0	0.2
不動産	355	337	18	5.4	66	84	Δ 18	Δ 21.2
その他	789	852	Δ 63	Δ 7.4	24	36	Δ 12	Δ 32.6
調整額	Δ 2,265	Δ 2,409	144	-	Δ 359	Δ 369	10	-
連結	12,335	13,620	Δ 1,285	Δ 9.4	660	593	67	11.1

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。

- ・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
- ・「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売、トレーディング等。
- ・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、EPC事業(電力・ガス事業)、EPC事業(電力・ガス事業)、EPC事業(電力・ガス事業)等。
- ・「その他」の主要な製品・サービスは、情報処理サービス、船舶等。

#### (4) 主要計数

(単位:億円、%)

	2020年度3Q	2019年度3Q	増減		2020年度3Q	2019年度3Q	増減
設備投資	1,669	1,527	142	D/Eレシオ	0.98	0.79	0.19
営業キャッシュ・フロー	1,763	1,598	165	ROA	1.7	1.4	0.3
有利子負債	11,209	9,050	2,159	ROE	4.0	2.9	1.1

(注) 有利子負債、D/Eレシオは2020年3月末との比較

### 2. 2020年度 通期見通し <対前回(10.29)見通し>

#### (1) 通期見通しのポイント

対前回 増収減益 対前期 減収増益(純利益ベース)

都市ガス販売量	+370百万m <sup>3</sup>	：発電需要増に伴う工業用の増等
電力販売量	+469百万kWh	：卸販売量増等
売上高	+270億円	：「ガス」の売上増+207億円(販売量増等)、「電力」の売上増+43億(卸販売量増等) 等
営業費用	+350億円	：「電力」の営業費用増+167億円(電力市場価格高騰影響等) 等
営業利益	Δ80億円	：ガス+39、電力Δ125(電力市場価格高騰影響等) 等

※4Qの経済フレーム(原油価格45\$/bbl→50\$/bbl、為替レート110円/\$→105円/\$)

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	2019年度※	増減	%
都市ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	12,940	12,570	370	2.9	13,855	Δ 915	Δ 6.6
電力販売量(百万kWh)	24,615	24,146	469	1.9	20,604	4,011	19.5
売上高	18,010	17,740	270	1.5	19,252	Δ 1,242	Δ 6.5
営業費用	17,220	16,870	350	2.1	18,238	Δ 1,018	Δ 5.6
営業利益	790	870	Δ 80	Δ 9.2	1,014	Δ 224	Δ 22.1
経常利益	680	800	Δ 120	Δ 15.0	1,026	Δ 346	Δ 33.8
親会社株主に帰属する当期純利益	490	560	Δ 70	Δ 12.5	432	58	13.2

経済フレームほか	今回	前回	増減	2019年度	増減
為替レート(¥/\$)	105.84	108.46	Δ 2.62	108.71	Δ 2.87
原油価格(\$/bbl)	41.29	40.34	0.95	67.79	Δ 26.50
平均気温(°C)	16.2	16.1	0.1	16.7	Δ 0.5
スライドタイムラグ(億円)	Δ 11	Δ 3	Δ 8	13	Δ 24

※2020年度第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年度に係る一部数値については、暫定的な会計処理の確定の内容へ適及修正(2019年度営業費用を1億円増加させたことにより、営業利益以下各利益が1億円減益)

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(4Q) (単位:億円)			
	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	2	10	Δ 8
原油価格JCCが\$/bbl上昇	0	1	Δ 1